

訪問看護ステーションだより 18号(最終号)を担当するアズマです

春の暖かい日差しが心地よく感じる季節になりました。

高槻市訪問看護ステーションは、高槻市社会福祉事業団の閉鎖に向けた事業整理に伴い、令和3年(2021)年4月1日より大阪府社会福祉事業団 高槻荘訪問看護ステーション桃園 と名称を変え、新たにスタートすることとなりました。

平成5年、高槻市社会福祉事業団が高槻市の高齢者福祉施設及び障がい者福祉施設の管理運営を主たる目的として設立され 15 の事業を始める中、同年、高槻市訪問看護ステーションは老人訪問事業として誕生しました。多くの先輩方の思いを受け継いで 28 年の歴史に幕を閉じることとなりました。現在 看護師 8 名 理学療法士 4 名 作業療法士 2 名で、毎日元気をお届けしています。名称は変わりますが訪問スタッフは変わらず、ますます元気に盛り上げていきたいと思ひます。

4月より新体制となり、管理者東から、才津に交替し、訪問看護事業をすすめていこうと思っております。現管理者の東は、人事異動により、高槻市療育園に勤務することとなりました。

医療ケアが必要な子供さん、その家族が地域でくらすしていくためには訪問看護との連携も必要になってくると思ひます。今まで、ご利用者様、スタッフの皆様とは、違った形で今後とも連携を取っていければと思ひています。

今までの感謝と、これからの抱負を胸に、高槻荘訪問看護ステーションのますますの発展を祈っています。今までありがとうございました。



多くの方に様々なご教示いただき、感謝しています。

いままでありがとうございました。